

荷物商売諸事ノ日記算用ヲ主ドル役ナリ」とあり、財副、財附ともに船上の財務担当で船主（舶主）に次ぐ位置である。

(4) 察陽 後出の蔡陽泰に同じで、どちらかが誤記であろう。

(5) 本国の船隻 宣徳三年に〔四〇〇六〕〔四二一〇一〕〔四三一一四〕を旧港に持参した琉球船。

(6) 彼 相手を中心にした表現で、琉球をさす。

(7) 類進 一まとめにして進上する、の意か。

(8) 来使 察陽等をさす。

(9) 王 琉球国王。その令旨は「多く」から「回国せしめよ」まで。

王相懷機より三仏齊国宝安邦の本目娘あて、礼物に謝して交易を請う書簡（一四三〇、一〇、一八）

琉球国王相懷機、端肅して書を三仏齊国宝安邦の本目娘の粧前に奉る。

宣徳四年（一四二九）六月内より、封書を承得するに、奇物を送到し本国の船隻に就付して前来せしむ。卑爵、啓進して王の令旨を敬奉するに、感得するに遠信は備に書中に知る。合に人船を遣わし、特に去きて回謝せしむべし、とあり。此れを敬む。敬遵する外、翰墨内の一節を覩るを得。

参見するに、前年の間、貴処の人船彼に到るに、本より使を差わして直送せんと欲するも、火長を欠無すれば暹羅国に致送す。甚だ是れ愧ずる有り。

差わす所の船隻は、会問の間に多く管待し並びに奇物を送るを蒙る。厚意に感謝し、今特に正使達且尼等を遣わし、人船を領駕して礼物を齎送し、前詣して回謝せしむ。幸希わくは収納せよ。今去く人船は専ら顧眄に托す。煩為わくは作成して買売を寛容し、完るの日発して風迅に趁りて回国せしめんことを。永く四海一家を結べば幸為らん。草字不宣。伏して照鑑を希う。

閃色段三匹 青段二匹 腰刀二把

宣徳五年（一四三〇）十月十八日 王相懷（機）書を奉る

注\*〔四三〇八〕総注参照。

(1) 宝安邦 パレンバンの漢字表記。宝林邦とも記す。旧港に同じ。

(2) 本目娘 〔四三一一〇〕の本頭娘に同じ。

(3) 粧前 女子の名の下に添える敬語。

(4) 本国の船隻 宣徳三年に〔四三一一四〕ほかを旧港に持参した琉球船。

(5) 王の令旨 琉球国王の令旨。「感得するに」から「回謝せしむべし」まで。

(6) 参見 参照し考える、の意か。

(7) 前年の間：致送す 〔四三一一四〕参照。

- (8) 差わす所の船隻 前注(4)の船隻に同じ。  
 (9) 顧眄こぼんに托す ご高配賜りたい、の意。

1-43-10

三仏齊国宝林邦の本頭娘より王相懐機あて、返礼の書簡

(一四三二、二、三)

三仏齊国宝林邦の粧次、本頭娘、稽首再拜す。即日にして孟春の謹時なり。伏して惟うに琉球国の公卿、王相台座、譴責は謂わす、謙仁にして物を貶しむ。答教あり、厚意を佩服す。揆はかりごとを退くるは欠然(6)たり。宣徳五年(一四三〇)十二月十一日、寄来せる批信を受到してより、大胆にも收受し齊全として感謝し、鈎(7)んで興居の多福ならんことを候い、大夏(8)の旃幪の庇に仰依し、鈎庭(11)を瞻仰するを尚なほ稽う。此に藻翰(12)の誨を承るに、礼を少かくるを諄復(13)す。治報(14)を鶴俟し、今に迨およびて慊然(15)たり。昨まに教帖(16)を承り諒(17)に恕照を蒙れば、今特に貴国の本船の回還するに、礼物を齎ま寄し前詣して回謝せしむ。幸希ねがわくは収納せんことを。今来れる人船は買売し完備すれば、風汛に赶趁して処所に前往せしむ。草字不専。伏して頓たたに納めんことを乞う。

苾布二匹

長文節智一塊

頂子一匹

沈香一十斤

宣徳六年(一四三一)二月初三日 本頭娘 再拜して書を奉る

注\*本文書は「四三〇九」に対する返書である。

- (1) 宝林邦 パレンバンの漢字表記。宝安邦とも記す。旧港に同じ。

- (2) 粧次 女子の名の下に添える敬語。粧前に同じ。誤用または後の挿入句か。

- (3) 本頭娘 女の頭目。施進卿の次女であろう。「瀛涯勝覽」旧港国の条に「本人(施進卿)死、位不伝子、是其女施二姐為王」とあること、「歴代宝案」中の旧港に関わる文書が、発信人・受信人共に二人ずつになっていることから、施氏の次女が頭目の地位を占め、恐らく既に他家に嫁していた長女が妹の後見役をつとめた、と解釈される(四三一〇四)注(1)の和田論文。なお「位不伝子」については同論文中に説明がある。

- (4) 孟春の謹時 孟春は陰曆正月で謹月ともいう。即日近日中の意。

- (5) 答教 返信。教は教帖(後注(16)参照)の意。

- (6) 欠然 意の満たないさま。物足りない。不満なさま。

- (7) 批信 「四三〇九」をさす。

- (8) 大胆 臆せず。あつかましい。

- (9) 興居 起居。

- (10) 大夏 中国。

- (11) 鈎庭 鈎は貴の意。ここでは琉球王府をさすか。

- (12) 藻翰の誨を承る お手紙を拝見いたしました、の意。誨は謙讓の表現で特に意味はない。

- (13) 諄復 諄復に同じ。ていねいにくりかえしいう。